



News Release

2019年9月25日

\*\*\*\*\*

**近年大注目の“足で行うバレーボール”  
セパタクロー国際親善試合  
「日本代表 v s タイ代表」  
10月14日(月・祝)名古屋で開催決定**

\*\*\*\*\*

～ 会場ではさまざまなイベント開催、さらにAbemaTVにて生放送！ ～

メ〜テレ（名古屋テレビ放送）は、2019年10月14日(月・祝)に 名古屋・港区のららぽーと名古屋みなとアクルスにて、「セパタクロー国際親善試合 日本代表 v s タイ代表 in 名古屋」を開催いたします。

セパタクローは、3対3で行う足で行うバレーボールのようなスポーツで、東南アジア各地で9世紀ごろから行われている球技を元にした近代スポーツです。

「セパタクロー日本代表チーム」は、昨年8月、世界最高峰の大会と称される「第18回アジア競技大会（ジャカルタ・パレンバン）」にて、史上初となる念願のファイナルに進出し、銀メダルを獲得しました。

今回は、前回大会で銀メダルを獲得した4対4人制での対戦となり、セパタクローの“絶対王者” タイ代表を名古屋にて迎え撃つゲームとなります。

### チーム情報

■日本代表監督：飯田義隆

日本代表選手：寺島武志 ・ 内藤利貴 ・ 市川遥太 ・ 高野征也 ・ 小林裕和 ・ 増田稜

■タイ代表監督：MR.SOMSAK DUANGMUANG ソムサク・ドゥアンムアン

タイ代表選手：MR.KOMKID SUAPIMPA コムキット・スアピムパー

MR.UTHEN KUKHEAW ウテーン・ゲーキアオ

MR.PHAKPONG DEJAROEN パックポン・デーッジャルーン

MR.WANNIMIT PROMDEE ワンニミット・プロムディー

MR.TANUSARD RAVIROD タヌサート・ラウィロート

当日は、会場にて人気グループ、MAGIC☆PRINCEや、名古屋グランパスエイトの選手らを迎えたトークショーや、「こどもセパタクロー体験」など、この試合を盛り上げる様々なイベントも開催します。

いずれも入場は無料。

また、試合の様子は、インターネットテレビ局「AbemaTV（アベマティーヴィー）」で生放送予定をしております。

～セパタクロー界の歴史が塗り変わる瞬間を見逃すな！～



### <開催概要>

- タイトル：セパタクロー国際親善試合 日本代表 v s タイ代表
- 会期：2019年10月14日(月・祝) 14:00 試合開始
- 会場：ららぽーと名古屋みなとアクルス「デカゴン」
- 主催：メ〜テレ
- 後援：愛知県、名古屋市、タイ王国大使館、在名古屋タイ王国名誉総領事館、一般社団法人日本セパタクロー協会
- MC：AKI
- DJ：MEILEE
- ゲスト：SKE48（杉山愛佳、相川暖花）、MAG!C☆PRINCE、Hi☆Five
- 入場無料
- 放送情報：AbemaTVにて14:00 試合開始から生放送  
実況：齋藤 寿幸（フリーアナウンサー）  
解説：矢野 順也（日本セパタクロー協会常務理事）  
ゲスト：山口 素弘（名古屋グランパス アカデミーダイレクター）
- ホームページ： [https://www.nagoyatv.com/sports\\_sp/sepaktakraw.html](https://www.nagoyatv.com/sports_sp/sepaktakraw.html)
- お問い合わせ：メ〜テレ 代表番号 052-331-8111（土日祝除く10:00~18:00）



## <AbemaTV 番組概要>

- 番組名：『セパタクロー国際親善試合 日本代表 v s タイ代表』
- 放送日：2019年10月14日（月・祝）
- 放送チャンネル：AbemaGOLD チャンネル
- 「AbemaTV」について

「AbemaTV」は、"無料で楽しめるインターネットテレビ局"として展開する、新たな動画配信事業。2016年4月に本開局し、オリジナルの生放送コンテンツや、ニュース、音楽、スポーツ、ドラマなど多彩な番組が楽しめる約20チャンネルを全て無料で提供し、利用者を伸ばしています。登録は不要で、スマートフォンやPC、タブレットなど様々な端末でテレビを観るような感覚で利用することができます。いつでもどこでも好きな番組を楽しめるオンデマンドエンタテインメント機能「Abemaビデオ」では、オリジナルエピソード数は国内発の動画サービスで日本No.1（※1）を誇り、総エピソード数は常時20,000本以上を配信しています。さらに、「Amazon Fire TVファミリー」や「AndroidTV」など主要なテレビデバイスにも対応し、通信量を半分に削減可能な「通信量節約モード」や、既に放送が開始された番組を放送中でも最初から視聴することができる「追っかけ再生機能」など、利便性を高めるための取り組みも積極的に行っています。

（※1）2019年8月末時点、自社調べ